

2018年度 自己点検・評価委員会 活動記録

5月

FD,SD,IRなどの関係組織をまとめた「教育開発センター」の必要性について提案が委員からあった。

7月

自己点検・評価委員会による「自己点検評価報告書」作成について議論した。

10月

(財)日本高等教育評価機構の大学評価基準項目に対応する事務部門の振り分けを自己点検・評価委員会として始める。各項目別に関係する部署の事務担当者に、項目ごとの達成度について回答してもらった。

11月

回収した回答を、自己点検・評価委員会により精査し、委員会が項目ごとに判断する結果を根拠とともに再び事務担当者にフィードバックし、それに対して事務部門から自己点検・評価委員会へ回答してもらった。

例：事務担当者が達成されていると回答がある項目に関して、委員会の判断が「未達成」の場合は、理由も添えて返した。項目別達成度の質問により、担当職員の教育や施設等に対する考え方を知ることができた。

12月

5年ごとに更新されている「中長期計画」が今年度で期限が切れることに鑑み、委員会で現行のものを議論し、次年度の作成に関して学長に提案することとした。

2月

学長、事務局長に次回の認証評価のスケジュール、評価される項目、江戸川大学で改善・改革が必要であると自己点検・評価委員会が考える項目に関してブリーフィングを行う。

3月

2016年の答申に示された改革・改善が必要な項目に対する進捗状況について、関係者(学長、法人本部事務局長、学部長、教務部長、学生部長、学科長、基礎教養・教育センター長)に回答を求めた。今回からPDCAサイクルの結果が可視化されるように、全ての部署に共通する、3年間の改善・改革の進捗状況が分かる回答シートを作成して、回答を求めた。

加えて、国際交流センター運営委員長、就職課長、学術情報課長に対して、現在までの活

動とその自己評価、今後の課題について、回答シートにより提出を求めた。